

校長室だより

# みなみ風



令和3年11月9日

No.7

## 南小いじめ撲滅キャンペーン

ひとつのことば 北原白秋

ひとつのことばで けんかして  
ひとつのことばで なかなおり  
ひとつのことばで 頭が下がり  
ひとつのことばで 心が痛む  
ひとつのことばで 楽しく笑い  
ひとつのことばで 泣かされる  
ひとつのことばは それぞれに  
ひとつのこころを 持っている  
きれいなことばは きれいな心  
やさしいことばは やさしい心  
ひとつのことばを 大切に  
ひとつのことばを 美しく

今月の全校集会で「ひとつのことば」という詩を読んだ後、以下の話をしました。

みなさんは、ばか、消えろ、死ね、などと友達の心を傷つけるような言葉を使ったことはありませんか。こうした言葉は、目には見えませんが、相手の心を攻撃し、傷つける言葉の暴力です。心の傷は、すぐには治りません。一生治らないこともあります。私たちはたくさん言葉を知っているのに、なぜお互いの気持ちをわかり合おうとする言葉を使わないのでしょうか。

校長先生を始め、南小全ての先生は、こうした言葉の暴力を学校からなくしたいと強く考えます。そのためには、みなさん一人一人が、言葉の暴力を「しない、させない、許さない」という強い気持ちが必要で、いじめにつながる、そして命に関わる言葉の暴力を学校からなくすために、「自分ならどうするか」一人一人考えてください。そして、みんなが実行することで、南小から友達の心を傷つけるような、言葉の暴力をなくしていきましょう。

私たちは、たくさんの言葉をもっています。自分が選んだ「ひとつのことば」を友達を励ましたり思いやったりすることに使うのか、友達を傷つけることに使うのか。どうか正しい言葉を使える人になれるよう、日頃から心がけてください。

四街道市教育委員会は「命の教育」を推進しています。これを受けて本校は、12月10日の世界人権デーまでの約1ヶ月間を「南小いじめ撲滅キャンペーン」として取り組みます。いじめ防止に係る取組は、日頃からの教育相談を始め、生徒指導などあらゆる機会を通じて指導しているところです。改めてこの期間を通じて、いじめの未然防止・早期発見・早期対応の一層の充実を図るとともに「いじめを許さない集団づくり、いじめが起きない学校づくり」に努めてまいります。子供たちが、いじめの問題にじっくり向き合う機会とし、いじめが起きない集団や学校をつくろうとする意識を高めていきます。